

滋賀県議会だより

No.62

編集・発行／滋賀県議会

就任の御挨拶

この度、私どもが、歴史と伝統に培われた滋賀県議会の第92代議長および第104代副議長の重責を担うことになりました。その使命と職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

さて、東日本大震災から1年以上が経過し、被災地では復興に向けた懸命な努力が続けられていますが、さらに復興を加速させていかなければなりません。こうした中で、本県においても、東日本大震災を踏まえた防災対策、原子力発電所の在り方を含めたエネルギー問題、高等学校の再編問題など、様々な課題が山積しています。

また、地方のことは地方で決め、決めたことには責任を持つという地方分権時代に対応していくため、県議会として県民の皆様方の声を真摯に受け止め、政策的な議論を活発に行っていく必要があると考えております。

さらに、市町村合併が進展した一方、関西広域連合の活動が本格化するなど、広域行政への取組が進む中で、県民の皆様の代表である議会の責任と役割は、ますます重要になってまいります。

こうした時代において、二代表制の一翼を担う議会としましては、県民の皆様の安全・安心な暮らしの実現のため、住民との関係強化や議会の政策形成機能・監視機能の強化など議会改革に誠心誠意努力してまいり所存であります。

今後とも皆様の格別なる御支援と御協力をお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。

議長
佐野 高典

副議長
山田 和廣

4月臨時会の概要

平成24年 4 月24日に 4 月臨時会を開き、第92代議長に佐野高典議員（自由民主党滋賀県議会議員団）が、第104代副議長に山田和廣議員（自由民主党滋賀県議会議員団）が選出されたほか、各委員会の正副委員長と委員、議会選出監査委員が選ばれ、県議会の新体制が決定されました。

この臨時会では、議員提出議案 1 件と知事提出議案 4 件が上程され、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

4 月臨時会で審議した主な議案

議案番号	件 名	結果
(知事提出)		
議第105号～議第106号	滋賀県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 ほか 1 件	可決
議第107号	専決処分につき承認を求めることについて（滋賀県税条例の一部を改正する条例）	承認
議第108号	滋賀県監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意

4 月臨時会で審議した意見書

番 号	件 名	結果
意見書第10号	国民的理解が得られない中での原子力発電所の再稼働をしないことを求める意見書案	可決

常任委員会の構成（平成24年 4 月24日現在）

総務・企業常任委員会 (委員数10名)	委 員 長	副委員長	委 員		委 員		委 員		委 員	
	 いくた くにお 生田 邦夫 自由民主党滋賀県議会議員団 湖南市 ②	 いわさ ひろあき 岩佐 弘明 自由民主党滋賀県議会議員団 守山市 ①	 おおのわさぶろう 大野和 三郎 自由民主党滋賀県議会議員団 犬上郡 ①	 やまもと ただし 山本 正 民主党・県民ネットワーク 草津市 ①	 こまい ちよ 駒井 千代 対話の会・しがねっと 草津市 ①	 もくざわ まさと 木沢 成人 無所属 東近江市 ②	 たかぎ けんぞう 高木 健三 自由民主党滋賀県議会議員団 近江八幡市 ①	 いしだ ゆうすけ 石田 祐介 自由民主党滋賀県議会議員団 高島市 ③	 やもり しげき 家森 茂樹 自由民主党滋賀県議会議員団 甲賀市 ⑤	 なかざわ けいこ 中沢 啓子 民主党・県民ネットワーク 彦根市 ④
政策・土木交通常任委員会 (委員数9 名)	委 員 長	副委員長	委 員		委 員		委 員		委 員	
	 かわしま りゅうじ 川島 隆二 自由民主党滋賀県議会議員団 長浜市 ②	 ありむら くにとし 有村 國俊 自由民主党滋賀県議会議員団 近江八幡市 ①	 めかた しんご 目片 信悟 自由民主党滋賀県議会議員団 大津市 ①	 あおき やすひろ 青木 甚浩 自由民主党滋賀県議会議員団 長浜市 ①	 いさか なおし 井阪 尚司 対話の会・しがねっと 蒲生郡 ①	 しばた ちえみ 柴田智恵美 民主党・県民ネットワーク 大津市 ②	 みうら はるお 三浦 治雄 自由民主党滋賀県議会議員団 栗東市 ⑥	 うめむら ただし 梅村 正 公明党 大津市 ⑥	 にしかわ かつひこ 西川 勝彦 民主党・県民ネットワーク 甲賀市 ③	
環境・農水常任委員会 (委員数9 名)	委 員 長	副委員長	委 員		委 員		委 員		委 員	
	 くのり まなぶ 九里 学 民主党・県民ネットワーク 栗東市 ②	 うの たかし 宇野太佳司 自由民主党滋賀県議会議員団 愛知郡 ①	 おおはし みちのぶ 大橋 通伸 民主党・県民ネットワーク 長浜市 ①	 ほそえ まさと 細江 正人 自由民主党滋賀県議会議員団 彦根市 ①	 こてら ひろお 小寺 裕雄 自由民主党滋賀県議会議員団 東近江市 ②	 おくむら よしまさ 奥村 芳正 自由民主党滋賀県議会議員団 草津市 ②	 さの たかひろ 佐野 高典 自由民主党滋賀県議会議員団 大津市 ④	 やまだ みのもる 山田 実 民主党・県民ネットワーク 東近江市 ③	 さわだ たかこ 沢田 享子 対話の会・しがねっと 大津市 ⑥	
厚生・産業常任委員会 (委員数10名)	委 員 長	副委員長	委 員		委 員		委 員		委 員	
	 にしむら ひさこ 西村 久子 自由民主党滋賀県議会議員団 彦根市 ②	 えばたやほちろう 江畑弥太郎 民主党・県民ネットワーク 彦根市 ②	 さとう けんじ 佐藤 健司 自由民主党滋賀県議会議員団 大津市 ①	 とみだ ひろあき 富田 博明 自由民主党滋賀県議会議員団 甲賀市 ①	 しみず てつじ 清水 鉄次 対話の会・しがねっと 高島市 ②	 なりた せいりゅう 成田 政隆 民主党・県民ネットワーク 大津市 ②	 やまだ かずひろ 山田 和廣 自由民主党滋賀県議会議員団 草津市 ③	 つじむら まさる 辻村 克 自由民主党滋賀県議会議員団 米原市 ⑤	 つただ けいこ 蔦田 恵子 みんなの党滋賀 大津市 ③	 おおい ゆづか 大井 豊 民主党・県民ネットワーク 守山市 ③
文教・警察常任委員会 (委員数9 名)	委 員 長	副委員長	委 員		委 員		委 員		委 員	
	 のだ ふじお 野田 藤雄 自由民主党滋賀県議会議員団 長浜市 ②	 いませ まさひこ 今江 政彦 民主党・県民ネットワーク 近江八幡市 ②	 やまもと しんいち 山本 進一 自由民主党滋賀県議会議員団 大津市 ①	 とば よしあき 富波 義明 対話の会・しがねっと 野洲市 ①	 こかわ きよみ 粉川 清美 公明党 大津市 ②	 う が たけし 宇賀 武 自由民主党滋賀県議会議員団 東近江市 ③	 あかほり よしつぐ 赤堀 義次 自由民主党滋賀県議会議員団 米原市 ④	 よしだ せいいち 吉田 清一 自由民主党滋賀県議会議員団 野洲市 ⑤	 たに やすひこ 谷 康彦 民主党・県民ネットワーク 湖南市 ③	 ふりがな氏 所属党派 選挙区 当選回数



自由民主党滋賀県議会議員団



代表
三浦 治雄

自由民主党滋賀県議会議員団は、26人の議員で会派を結成しています。

昨年度に引き続き、県政の重要課題に取り組みたいと思います。特に、今年度は、一週間に1回の政務調査会をこれまで以上に充実させていきます。

また、昨年度は、2月定例会において議員提案による職員給与条例の一部改正が可決されたものの、知事の再議権行使により否決されるという経緯がありました。

このことから、今年度は、政務調査会とは別立てで、行財政調査会という組織を設置し、行財政改革に対する取組を調査研究し、県政に反映していきたいと考えています。

また、地震対策が喫緊の課題であるため、高島市や長浜市の防災計画について十分なフォローアップができる体制づくりや、最近の脱原発の動き、京都府とともに国に提出した7項目の提言についても、県議会として十分な対応をしていきます。

140万県民の皆さんの意思が県政に反映されるように、執行機関と力を合わせて、会派として取り組みたいと思います。

民主党・県民ネットワーク



代表
大井 豊

民主党・県民ネットワークは、12人の議員で構成しています。

昨年度は、県内15か所でテーマを決めて意見交換会を開催しました。このような取組を今年度も行い、県民の皆さんとのつながりを深めていきたいと考えています。

大きな課題となっている原子力発電所の再稼働問題についてどのように考えるか、さらには、再生可能エネルギーを今後どうしていくかも県にとって大きな課題です。

一方、関西広域連合が発足して一年半が過ぎ、これからが正念場です。国の出先機関の地方への移管という大きな課題があり、国でも法案が議論されています。

どの権限を地方に移譲するかすらまだ見えてきませんが、これを明らかにしていきます。

また、県立高等学校再編問題についても、会派としてしっかり対応していきたいと考えています。

県民の皆さんに理解していただけの活動にこの一年間取り組んでいきたいと思っています。



代表
清水 鉄次

対話の会・しがねっとは、昨年の県議選で約束した県民の暮らしと命を守る「かだまニフェスト2010もつたないいプラ

ス」の実現を目指しています。このマニフェストは、人が生まれてから今までタブーと言われてきた看取り政策まで踏み込んだ内容です。施策実現のため、県の課題について視察調査を積極的に行います。

大飯原発再稼働問題については、原発事故の原因究明や安全対策に県民の理解を得られていない中では再稼働すべきでなく、国には慎重な対応をお願いしたいと考えています。

そして、原発に頼らない社会を目指すために新たなエネルギー政策を提案していくとともに、災害廃棄物の処理問題については、宮城県と岩手県の調査研究を予定しており、被災地の現状や課題を現地で確認し、どのように対応していくべきか提案していきたいと考えています。



代表
梅村 正

平成24年度は、安心と安全を実感できる年にしたいという思いでいっぱいです。まず、喫緊の課題である原子力や地震災害の安全対策を現場の視点で取り組みます。これまで、県独自の放射性物質の拡散シミュレーションや専門家委員会の設置などを提案し、具体化してきました。

今後さらに、災害対策に女性の視点を生かし、安心を築きます。

また、若い皆さんの非正規雇用が大変多い状況を踏まえた雇用対策の強化、高齢化社会に対応した地域交通の具体化や生活

に密着した福祉の充実、特別支援教育をはじめ教育問題などに全力で取り組みます。そのためには、財源の確保が不可欠です。無駄をなくす行財政改革への断の努力と実行、県民の声が反映された県政の実現、観光や中小企業または農林漁業などの振興と財源確保のための対策を進めていきます。



代表
髙田 恵子

県財政は逼迫した状況が続いており、二元代表制の下、県議会が果たす役割はますます重くなると自覚しています。

みんなの党は、国政で公務員改革や議員改革を最も強く打ち出している政党で、みんなの党滋賀も同じです。

税金で収入を得ている人が税金で建てられた建物に住むことは、県民の皆さんに理解されません。公舎や職員住宅の問題に引き続き取り組んでいきます。

職員の地域手当が大きいくクローズアップされましたが、知事は、何としても今年度も引き上げるため、再議にかけてまで実行されました。一体どこを向いて舵取りをしているのかと驚きと憤りを禁じ得ません。

県民の皆さんの立場に立ち、県民の皆さんの幸せのために、信念と覚悟を持って県政が抱える様々な課題に取り組みます。



議会からのお知らせ

●議会改革の取組

議会改革検討委員会（小寺裕雄委員長）は平成24年 4 月 20日、検討結果報告書（第 2 次）を家森茂樹議長に提出しました。

議会改革の検討事項は多岐にわたっており、全てを検討するには相当の時間を要するため、検討を重ねる中で結論を得たものから順次、報告を行うこととしています。

第 2 次報告書では、議会審議への住民参加に関する事項および議会意思形成のための手続整備に関する事項について報告しました。

報告の概要

●県民参画委員会の制度化

委員会運営に県民との対話を取り入れ、開かれた議会の実現と委員会の活性化を図る制度として、県民参画委員会を実施する。

●委員会の運営方針の決定と公表

常任委員会については委員長の運営方針を、特別委員会については委員会で決定した重点調査項目や運営方針をホームページで公表する。

常任委員会については、年間を通じて議論する必要がある重要課題があれば、重点審議事項として位置付ける。

●論点の整理と公表

常任委員会と特別委員会の重点的審議事項については、調査審議の中間で論点整理を行い、ホームページで公表する。

●論点を基にした議員間討議

委員会の政策論議の活性化のため、県政の重要課題について、委員会で協議の上、委員間討議を行う。委員会の重点的審議事項については、整理した論点を基に委員間討議を行う。

●決議、附帯決議等の反映状況の調査

決議や附帯決議を行ったときは、原則として、1 年以内にその反映状況を、ホームページで公表する。

採択請願の処理結果の報告についても、同様に公表する。

●佐野高典議長が全国都道府県議会議長会副会長に就任

平成24年 4 月24日に佐野高典議長が全国都道府県議会議長会副会長に選任されました。



議会運営委員会	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会 (委員数 9 名)	石田 祐介	山田 実	山本 進一、今江 政彦、奥村 芳正、赤堀 義次、西川 勝彦、沢田 享子

特別委員会の構成	委員長	副委員長	委員
防災対策特別委員会 (委員数11名)	成田 政隆	佐藤 健司	富田 博明、駒井 千代、今江 政彦、宇野太佳司、高木 健三、赤堀 義次、吉田 清一、梅村 正、中沢 啓子
地方分権・広域連合対策特別委員会 (委員数11名)	小寺 裕雄	柴田智恵美	有村 國俊、岩佐 弘明、山本 正、井阪 尚司、川島 隆二、生田 邦夫、家森 茂樹、髙田 恵子、谷 康彦
行財政対策特別委員会 (委員数11名)	細江 正人	富波 義明	目片 信悟、大野和 三郎、九里 学、奥村 芳正、辻村 克、三浦 治雄、山田 実、大井 豊、沢田 享子
温暖化・エネルギー対策特別委員会 (委員数11名)	清水 鉄次	山本 進一	青木 甚浩、大橋 通伸、江畑弥八郎、木沢 成人、粉川 清美、野田 藤雄、西村 久子、石田 祐介、西川 勝彦

議会選出監査委員	宇賀 武
----------	------

会派別議員数

(平成24年 4 月24日現在)

自由民主党滋賀県議会議員団…	26人
民主党・県民ネットワーク……	12人
対話の会・しがねっと……………	5人
公明党……………	2人
みんなの党滋賀……………	1人
無所属……………	1人
定数47人……………	現員47人

テレビ放送の御案内

5 月19日(土)の午後 6 時から、びわ湖放送で、滋賀県議会広報番組「県議会リポート」を放送します。

滋賀県議会の概要や、正副議長、議会運営委員長、各会派代表のインタビューを放送します。

また、6 月定例会から、びわ湖放送で県議会広報番組「議会ダイジェスト」を放送します。代表質問と一般質問の模様を、解説を交えて放送します。どうぞ御覧ください。

滋賀県議会では、県民の皆さんに議会活動への理解を一層深めていただくため、わかりやすい広報紙づくりに努めています。御意見など下記までお寄せください。

あて先 〒520-8577 大津市京町 4-1-1 滋賀県議会事務局 議事調査課 政務調査室 TEL 077-528-4094 FAX 077-528-4940 Eメール gikai@pref.shiga.lg.jp

この広報紙は502,000部作成し、県内に新聞折込で配布しています。経費（印刷、折込、職員の人件費）は1部当たり6円です。